

2018年度 事業報告書

自 2018年 4月 1日

至 2019年 3月 31日

目 次

I. 一般概要	1
II. 事務報告	2
1. 基本財産	2
2. 会 議	2
(1) 評議員会の開催	2
(2) 理事会の開催	2
(3) アドバイザリー会議	3
(4) 「ゲートボール再生のための組織改革推進プロジェクト委員会」 の開催（日本財団助成事業）	4
3. 事務局機構	4
4. 届出・登記事項	4
III. 事業報告【公益目的事業】	5
1. 普及および振興	5
(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）	5
(2) 学校スポーツとしての育成	6
(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進	7
(4) ゲートボール用具等の寄贈（日本財団助成事業）	7
2. 競技力の向上	8
(1) ゲートボール技能認定の実施	8
(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業）	8
3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催	8
(1) 全国大会の開催（助成事業）	8
(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援	10
4. 国民体育大会	10
(1) 公開競技の実施（日本財団助成事業）	11
(2) 第74回国民体育大会（いばらき国体）地域予選会	11
(3) 公開競技の開催準備および正式競技種目採択のための活動	11
5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘	12
(1) 世界ゲートボール組織の支援・充実（日本財団助成事業）	12
(2) 海外派遣事業（日本財団助成事業）	13
(3) 国際大会等への日本チームの派遣（日本財団助成事業）	13

6. 競技規則に関すること	13
(1) 公式ゲートボール競技規則の改正	13
(2) 国際公式ゲートボール競技規則改正への協力（日本財団助成事業）	14
7. 指導者の養成	14
(1) 指導者の育成（日本財団助成事業）	14
(2) 公認指導者の養成	14
8. 審判員の養成および認定	17
(1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）	17
(2) 審判員資格試験の実施	17
(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施	17
(4) 永年審判員登録者数	18
(5) 国際審判員	18
9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定	22
10. ゲートボールに関する刊行物の発行	22
11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	22
(1) 功労者等の表彰	22
(2) 各種大会への協力	22
(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止	23
(4) 広報事業	25
(5) 会員データシステムの整備	26
(6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集	26
【参考：各種名簿】	28
別表第1 評議員：任期4年（8名以上15名以内）	28
別表第2 理事：任期2年（8名以上15名以内）	28
別表第3 監事：任期2年（2名以内）	28
別表第4 アドバイザー	29
別表第5 事務局組織図	29
【2018年度事業報告における附属明細書】	30

I. 一般概要

公益財団法人日本ゲートボール連合（日本連合）では、国内外におけるゲートボールの普及をつうじて世代や地域を超えたコミュニケーションの促進を図り、国民の心身の健全な発達、明るい生活・活力ある社会の実現および国際社会の調和に寄与することを目的に、多様な事業を積極的に展開しているところである。

2018 年度も前述の目的を達成するため、「基礎的条件の整備」「全国大会の開催」「審判員・指導員の養成」「広報活動」等多彩な普及事業を展開した。

特に、歯止めの利かない会員減少と長引く財政悪化の状況に対し、「ゲートボール」存続の危機ととらえ、緊急かつ最大要件として、ゲートボール再生に向けた組織改革推進プロジェクトを設置し、ゲートボール界全体の抜本的な改革を始動した。

また、4年に1度開催される第12回世界ゲートボール選手権大会がブラジル連邦共和国で開催され、全面的に協力した。

各事業の詳細については、「Ⅲ. 事業報告【公益目的事業】」に記載した。

なお、事業の実施にあたり、日本連合は、都道府県加盟団体をはじめ、関係行政機関、関係団体と協調している。特に、日本財団をつうじて貴重なボートレースの収益金の一部を支援いただいているほか、日本スポーツ振興センター、スポーツ安全協会の支援を受けた。

II. 事務報告

1. 基本財産

2019年3月31日現在の基本財産は1億円である。

※財務諸表では債券が時価評価となり、期末の基本財産は、103,112,100円となっている。

2. 会 議

日本連合の事業遂行のため、評議員会および理事会を以下のとおり開催し、事業遂行の重要案件を審議した。

また、新規専門員会として「ゲートボール再生のための組織改革推進プロジェクト委員会（再生委員会）」を設置し、ゲートボール愛好者の拡大、日本連合および加盟団体の再活性化に向け、様々な方向からの検討を始めた。

(1) 評議員会の開催

1) 2018年度定時評議員会

- ① 開催日時：2018年6月26日（火）11：03～12：24
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席評議員7名、欠席評議員4名、出席監事1名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 2017年度事業報告ならびに財務諸表の承認に関する件
 - 第2号議案 評議員の補欠選任に関する件
 - 第3号議案 次期理事および監事の選任に関する件
 - 第4号議案 常勤理事の退任に伴う退職慰労金の支給に関する件
 - 第5号議案 常勤理事の報酬に関する件

2) 2018年度臨時評議員会（決議の省略による書面評議員会）

- ① 開催日時：2019年2月20日（水）
- ② 開催場所：日本連合事務所
- ③ 出欠者：回答評議員11名、未回答評議員1名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 定款に関する件
 - 第2号議案 評議員および役員の報酬ならびに費用に関する規程の改正に関する件

※ 本会は決議の省略ができる条件を満たせなかったため、上記の両議案とも否決された。

(2) 理事会の開催

1) 第18回理事会

- ① 開催日時：2018年6月5日（火）10：35～11：34
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事8名、欠席理事2名、出席監事2名
- ④ 審議事項

- 第1号議案 2017年度事業報告ならびに収支決算に関する件
- 第2号議案 2018年度定時評議員会の開催に関する件
- 第3号議案 規程の制定に関する件
- 第4号議案 2019年度本連合主催全国大会の開催地に関する件
- 第5号議案 2019年度日本財団等への助成金の申請に関する件

2) 第19回理事会

- ① 開催日時：2018年6月26日（火）13：56～14：09
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事10名、欠席理事1名、出席監事1名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 会長及び専務理事、ならびに常務理事の選定に関する件
 - 第2号議案 顧問の委嘱に関する件
 - 第3号議案 その他

3) 第20回理事会（決議の省略による書面理事会）

- ① 開催日時：2019年1月25日（金）
- ② 開催場所：日本連合事務所
- ③ 出欠者：回答理事11名、未回答理事0名、回答監事2名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 委員会の設置に関する件
 - 第2号議案 評議員会の書面決議に関する件

4) 第21回理事会

- ① 開催日時：2019年3月6日（水）12：55～14：10
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事10名、欠席理事1名、出席監事1名
- ④ 審議事項
 - 第1号議案 2018年度収支予算の一部補正に関する件
 - 第2号議案 2019年度事業計画ならびに収支予算に関する件
 - 第3号議案 世界ゲートボール連合ならびにアジアゲートボール連合の業務受託に関する件

(3) アドバイザリー会議

都道府県加盟団体（加盟団体）に各1名、学識として1名のアドバイザーを委嘱し、日本連合の今後の事業展開、加盟団体相互の情報交換を目的に年1回アドバイザリー会議を開催しているが、今年度は、今後の会議の運営やあり方について再検討するため開催しなかった。ただし、2018年度の最重要案件「ゲートボール再生のための組織改革推進プロジェクト」への相互理解と加盟団体との意見交換を図るため、10地域の代表アドバイザーによる会議を開催した。詳細は「地域代表アドバイザリー会議の開催」（6ページ）に記載。

※アドバイザーの名簿は「別表第4 アドバイザー」（29ページ）参照

(4) 「ゲートボール再生のための組織改革推進プロジェクト委員会」の開催（日本財団助成事業）

再生プロジェクトの本格的な始動に向け、2017年度開催の中期ビジョン検討会議を発展させた新規の委員会で、日本連合理事を主要メンバーとし、迅速な対応のための少人数制による委員会とし、月2回の開催を原則とし、今後の方向性、既存事業・財政構造等、すべて総合的な改革への企画立案と、実施に向けた定期会議の開催により、以下のとおり検討を実施し、2019年度以降の基本計画を立案した。

- ① ヒアリング調査（日本連合役職員、加盟団体、関係者等）
- ② 新たな地域拠点および普及活動場の開拓に向けた大学等の現地調査

3. 事務局機構

2019年3月31日現在の事務局機構は、別表第5のとおり2部4課であり、職員7名である。

4. 届出・登記事項

- ① 内閣府への届出
事業計画、事業報告等 2件
- ② 日本スポーツ協会（日本体育協会より改称）への届出
事業計画、事業報告等 2件
- ③ 日本レクリエーション協会への届出
事業計画、事業報告等 2件

Ⅲ. 事業報告【公益目的事業】

1. 普及および振興

(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）

加盟団体の組織強化や相互理解の促進を図りながら、指導体制の拡充、競技水準の向上、加盟団体の財務強化、情報伝達や広報手段の促進など、新たな愛好者の拡大を図るため、大学教授やスポーツ産業の事業者など関係者の協力を仰ぎ、ゲートボール界が更に発展するための基礎となる諸条件の整備を行った。

1) 指導内容等のプログラミング・開発

課 題	実 施 内 容
カテゴリ別指導法	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ゲートボールをつうじた大規模団地における地域コミュニティの活性化」の新規モデルケースに向け、地元ゲートボールサークルクラブとの協同による高等学校へのゲートボール普及の実践。 ● 医科学的知見によるゲートボールの効果（健康増進等）について、北海道大学と調整するも、具体的な調査実施までには至らなかった。
用具開発・環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 人工芝用 特注「ゲート・ゴールポール」の改良（協力）日本ゲートボール認定用品工業会
広報・IT強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本連合ウェブサイトのリニューアルに伴う一部修正 ● 加盟団体ブログの一部修正
ゲートボール全般	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本連合中期ビジョン策定会議および組織改革推進プロジェクトの実施 今後の方向性、既存事業・財政も含めた総合的な改革の立案と、実施に向けた定期会議の開催および以下の調査等を実施。詳細は4ページ

2) ゲートボール活動の拠点づくり

“ゲートボールを初めて体験する人やゲートボールをしてみたい人の受入れ先”として、また“ゲートボールをしていない人たちとの接点”として、加盟団体が責任を持って「楽しいゲートボールを提供できる」拠点の整備のための用具支援を行った。主な拠点の領域は以下のとおり。

小学校・児童館等	中学校・大学等	支援施設	G B 場	老人クラブ	その他	計
10	5	0	8	0	3	26

3) 加盟団体の支援・組織体制の強化

① 地域連絡会議の実施

（北海道・東北・北信越・北関東・南関東・近畿・中国・四国・九州）

② 地域代表アドバイザー会議の開催

地域連絡会議をつうじた加盟団体との更なる連携強化を図るため、10 地域協議会の代表アドバイザーを一堂に集め、各種事業に対する方針決定を図るとともに、ゲートボール再生のための組織改革推進プロジェクトの実施に向けた相互理解を図った。

- ・期 日： 2018年11月29日（木）・30日（金）
- ・会 場： 東京都港区 笹川記念会館
- ・参加者： 東海地域を除く9名
- ・内 容： 地域連絡会議における検討依頼事項に対する決定方針／ゲートボール界の現状と組織改革推進プロジェクト／加盟団体活動紹介

参加者一覧（敬称略・順不同）

五十嵐隆男	北海道	本田恭一	中国（島根県）
蛭名啓一	東北（青森県）	徳永和夫	四国（愛媛県）
小口孝夫	北関東（栃木県）	山下真人	九州（鹿児島県）
森口貴教	南関東（東京都）	今川啓一	学識アドバイザー
阿部忠孝	北信越（新潟県）	南木恵一	理事（再生委員会）
棚野一美	近畿（和歌山県）	町田 光	理事（再生委員会）

※1 四国地域の徳永アドバイザーの代理で、井内宏隆氏（徳島）が出席

※2 東海地域欠席

③ 加盟団体マネジメントセミナーの開催

加盟団体事務関係者を一堂に集め、日本連合の次年度の諸事業への理解促進、業務効率の向上、ゲートボールに関する情報発信等について、日本連合と加盟団体担当者との情報共有、意見交換等を行い、相互理解の促進と組織強化を図った。

- ・期 日： 2019年3月11日（月）・12日（火）
- ・会 場： 東京都港区 品川プリンスホテル
- ・参加者： 加盟団体役職員 34 加盟団体 56 名
- ・内 容： 日本連合 2019 年度事業計画の概要／会員名簿システムの運用／ゲートボール再生プロジェクト／地域連絡会議における検討依頼事項に対する決定方針／事務局業務の説明等

(2) 学校スポーツとしての育成

全世代型スポーツを目指すためには、愛好者、特にジュニア世代の底辺拡大につながる学校スポーツとしての定着が不可欠であることから、中学校・高等学校でのゲートボール活動を支援し、ジュニア世代の育成を図る一方、高等学校卒業後の受け皿として、全国ユースゲートボール連盟の活動を支援した。

1) 中学・高等学校でのゲートボール活動を支援する助成事業

全国の学校教育機関における運動部活動（クラブ・同好会）への普及および各体育連盟等への加盟を目指すべく、中学校・高等学校を対象としたゲートボール活動への助成について、17 期目の今年度は、新たに高等学校 1 校を支援した。

① 第17期（2018・2019・2020年度）

1	徳島県立城ノ内高等学校	徳島
---	-------------	----

② 第16期（2017・2018・2019年度）

1	青森山田中学校	青森
2	水戸市立第三中学校	茨城
3	十日町市立吉田中学校	新潟
4	会津北嶺高等学校	福島
5	千葉県立我孫子高等学校	千葉

③ 第15期（2016・2017・2018年度）

1	星槎国際高等学校 広島学習センター	広島
2	熊本県立天草高等学校 倉岳校	熊本

2) 第7回全国高等学校ゲートボール選手権大会（スポーツ安全協会助成事業）

高校生へのスポーツ参加の促進と高等学校におけるゲートボール活動の拡大を目的とする、リレーシオン-3（3人制）競技による本大会は、目標の16校には達しなかったが、昨年度より2校増の12校（うち3校が初出場）により、以下のとおり実施した。

- ・期 日：2018年12月8日（土）
- ・開 催 地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
- ・主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ・参 加 数：12校（56名）
- ・成 績

順位	学 校 名	加盟団体
優 勝	作新学院高等学校	栃 木
準優勝	県立朝霞高等学校	埼 玉
第3位	青森山田高等学校	青 森

(3) リレーシオン（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進

リレーシオン-2、リレーシオン-3は、少人数でチームを編成し、運動量豊富でスピーディーなゲームが展開できることから、ミドル層やジュニア層を中心に幅広い世代に支持されるようになり、各地域での競技会開催も定着してきた。

日本連合では、前述の高等学校選手権大会で採用し、普及に努めた。

(4) ゲートボール用具等の寄贈（日本財団助成事業）

従来から普及を図っている国・地域や普及の兆しのある国・地域に対し、スティック・ボール等の用具、競技規則、各種資料を提供してさらなる普及に努めた。

用具：ドイツ、フランス、スイス、ベルギー、ハンガリー

資料：ウガンダ、オーストラリア、フィリピン、スイス

2. 競技力の向上

(1) ゲートボール技能認定の実施

ゲートボール技術と競技スポーツとしての評価向上を目的とした技能認定事業（競技で必要と思われる主なボール配置からの成否に基づき、技術の習得レベルを評価する個人向け検定制度）については、一時休止としているが、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者事業の制度改革での活用に向けた抜本的な見直しを開始した。

(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業）

競技スポーツとしてゲートボールを構築するため、第34回全日本ゲートボール選手権大会の全115試合を映像収録し、独自開発したゲートボール専用の分析ソフトを活用して、すべての選手のプレーやチーム戦術等のデータ分析を行った。

また、専用サイト「ゲートボールTV」において、試合結果の速報と収集した全試合の動画をネット上で公開し、誰もが、いつでも視聴できる環境整備を行った。

3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催

(1) 全国大会の開催（助成事業）

1) 文部科学大臣杯 第34回全日本ゲートボール選手権大会

（スポーツ振興基金助成事業）

- ・期 日：2018年10月27日（土）・28日（日）
- ・開 催 地：千葉県浦安市 浦安市運動公園 陸上競技場
- ・主 管：千葉県ゲートボール連盟
- ・参加チーム：48チーム（286名）
- ・成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	作新学院	栃 木
準 優 勝	萬燈組	愛 知
第 3 位	小松島ネクサス	徳 島
	大垣心友会	岐 阜

※年齢・性別不問

2) 第33回全国選抜ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ・期 日：2018年5月19日（土）・20日（日）
- ・開 催 地：鹿児島県指宿市 指宿市陸上競技場
- ・主 管：鹿児島県ゲートボール協会
- ・参加チーム：96チーム（524名）
- ・成 績

男子クラス（48チーム）			女子クラス（48チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	水都	岐 阜	優 勝	木曜クラブ	岩 手
準 優 勝	霧島クラブ	鹿児島	準優勝	西海大島	長 崎
第 3 位	萬燈組	愛 知	第 3 位	伊達なレディース	宮 城
	千代田クラブ	東 京		SGK	埼 玉

※ 65歳以上とするが、各チームには65歳未満の競技者2名までが参加できる。

3) 内閣総理大臣杯 第35回全日本世代交流ゲートボール大会 (日本財団助成事業)

- ・期 日：2018年7月14日(土)・15日(日)
- ・開 催 地：岩手県盛岡市 岩手県営運動公園 第1グラウンド
- ・主 管：岩手県ゲートボール協会
- ・参加チーム：48チーム(296名)
- ・成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	岐阜羽島	岐 阜
準 優 勝	萬燈組	愛 知
第 3 位	だだちゃ豆キング	山 形
	カシオペア	岩 手
文 部 科 学 大 臣 賞	だだちゃ豆キング	山 形

※15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上の3世代の年齢の選手でチーム構成する。
 ※「文部科学大臣賞」
 優勝から第3位までの4チームで年齢差が最も大きいチーム。

4) 第23回全国ジュニアゲートボール大会 (日本財団助成事業)

- ・期 日：2018年7月28日(土)・29日(日)
- ・開 催 地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム
- ・主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ・参加チーム：77チーム(545名)
- ・成 績

ジュニア男子1部クラス (22チーム)			ジュニア女子1部クラス (11チーム)		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	小松島ネクサス	徳 島	優 勝	作新クラブ	栃 木
準優勝	黒田庄ジュニア	兵 庫	準優勝	朝霞高校A	埼 玉
第 3 位	青森山田D	青 森	第 3 位	青森山田A	青 森
	大垣ジュニアA	岐 阜		Iwate Ms. KMN	岩 手
ジュニア2部クラス (44チーム)			※ジュニア男子1部クラス 15歳以上18歳未満の男子 ※ジュニア女子1部クラス 15歳以上18歳未満の女子 ※ジュニア2部クラス 6歳以上15歳未満、性別不問		
順位	チーム名	加盟団体			
優 勝	山科中学フェニックス	京 都			
準優勝	マチルダ	北 海 道			
第 3 位	久慈来内ジュニア	岩 手			
	久慈来内小学校	岩 手			

5) 全国社会人ゲートボール大会

※ 隔年開催により実施せず

- ・参加チーム：-----
- ・成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	- - - -	
準優勝	- - - -	
第 3 位	- - - -	
	- - - -	

※同一都道府県内における、同一の官公庁・企業等で職業に従事する者でチームを構成する。

(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援

1) 地域ゲートボール選手権大会

地域愛好者のゲートボール技能向上、相互交流促進、情報交換のため、各地域において大会を開催し、ジュニア・ミドル・シニア各世代への普及促進を図った。

① 地域選手権大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
北海道	北海道	7月21日・22日	17	オホーツクスパーク（北海道）
東北	秋田	7月7日・8日	48	久慈（岩手）
北信越	長野	6月2日・3日	80	ザ・松任（石川）
北関東	埼玉	7月21日・22日	48	かわせみ（埼玉）
南関東	千葉	8月12日	16 16	男子の部：東京ニコニコクラブ（東京） 女子の部：夢湘南（神奈川）
東海	愛知	11月3日	32	大垣心友会（岐阜）
近畿	滋賀	10月27日・28日	96	さくらんぼ（大阪）
中国	鳥取	9月29日・30日	40	友和会（島根）
四国	徳島	5月27日	48	健祥会B（徳島）
九州	鹿児島	11月10日・11日	48	築上町（福岡）

② 地域ジュニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	秋田	11月3日	11	もりおか木曜ジュニアJK（岩手）
四国	徳島	8月19日	1	城ノ内高校（徳島）

③ 地域ミドル大会・社会人大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
四国 (ミドル)	徳島	6月17日	12	男子の部：小松島ネクス（徳島）
			7	女子の部：愛媛マドンナ（愛媛）
(社会人)	徳島	8月19日	5	健祥会A（徳島）
九州	福岡	9月29日・30日	16	霧島クラブ（鹿児島）

④ 地域スーパーシニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	岩手	9月4日・5日	17	志波城（岩手）

2) 都道府県ゲートボール大会

日本連合が主催する全国大会の都道府県予選会を支援することにより、競技としてのゲートボールの普及と選手の競技力を高めるとともに、加盟団体の全国大会に対する参加意識の強化を図った。

4. 国民体育大会

第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）の公開競技として実施するとともに、各地域における予選会を支援した。

(1) 公開競技の実施（日本財団助成事業）

第 73 回国民体育大会[公開競技]ゲートボール競技会

- ・期 日：2018年9月1日（土）・2日（日）
- ・開 催 地：福井県若狭町 若狭町多目的交流広場「若狭さとうみパーク」
- ・参加チーム：32 チーム（221 名）
- ・成 績

男子（16チーム）		女子（16チーム）	
順位	都道府県名	順位	都道府県名
第 1 位	岐阜県	第 1 位	岩手県
第 2 位	香川県	第 2 位	福井県
第 3 位	栃木県	第 3 位	大阪府

※ 中学生を含まない平成 15 年 4 月 1 日以前に生まれた者。

※ 監督は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ゲートボール指導員の有資格者とする。

(2) 第 74 回国民体育大会（いばらき国体）地域予選会

地 域	開催地	開催 日	参加チーム数		優勝（国体参加都道府県）	
			男子	女子	男子	女子
北海道		2019 年度開催予定				
東 北	秋 田	7 月 7 日・8 日	6	6	山 形 県	青 森 県
北信越		2019 年度開催予定				
北関東	茨 城	2019 年 3 月 30 日	9	9	埼 玉 県	栃 木 県
南関東	千 葉	8 月 12 日	16	16	東 京 都	神 奈 川 県
東 海		2019 年度開催予定				
近 畿		2019 年度開催予定				
中 国	鳥 取	9 月 29 日・30 日	5	4	鳥 取 県	岡 山 県
四 国	香 川	2019 年 3 月 24 日	8	7	香 川 県	愛 媛 県
九 州	鹿 児 島	10 月 21 日	8	8	鹿 児 島 県	福 岡 県

(3) 公開競技の開催準備および正式競技種目採択のための活動

公開競技としてゲートボール競技の実施が確定されている第 74 回大会以後の国民体育大会に関し、公開競技実施基準等の確認や開催準備スケジュール等について、日本スポーツ協会、開催地実行委員会、会場地自治体、開催地加盟団体と協議を行った。

また、改革第 4 期（第 82 回～）以後の正式競技種目採択に向け、加盟団体、ゲートボール振興議員連盟、関係団体等の協力を仰ぎながら、国体実施競技選定調査に向けた対策と各種事業の成果をアピールするとともに、日本スポーツ協会、都道府県体育・スポーツ協会への働きかけを行った。

期	回数	開催年	開催地	会場地市町村
第2期	第74回	2019年	茨城県	行方市
	第75回	2020年	鹿児島県	指宿市
	第76回	2021年	三重県	松阪市
	第77回	2022年	栃木県	未定
第3期	第78回	2023年	佐賀県	未定
	第79回	2024年	滋賀県	未定
	第80回	2025年	青森県	未定
	第81回	2026年	宮崎県	未定

5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘

(1) 世界ゲートボール組織の支援・充実（日本財団助成事業）

ブラジルでの日本移民110年の節目となる2018年、ブラジルゲートボール連合主管による第12回世界選手権大会がサンパウロ市にて開催され、成功裡に終了した。日本連合は、日本からの代表チームや国際審判員を派遣するほか、本大会への運営協力を行った。南米地域においては、日本同様の高齢化や会員減少が顕著化しつつあったが、開催地ミドルチームが優勝したことで、これまでの先人方の努力が報われる形となり、日系人同士の絆の深まりや今後の前向きな組織運営に大きな財産をもたらすものと思われる。また、ヨーロッパからは過去最多の4チームが出場し、公式大会を経験されたことは、同地域での更なる定着が期待できる大会となった。

第12回世界ゲートボール選手権大会

- ① 期 日： 2018年9月21日（金）～23日（日）
- ② 開催地： ブラジル連邦共和国サンパウロ市「ゲートボールスタジアム」
- ③ 主 管： ブラジルゲートボール連合
- ④ 参加数： 64チーム（438名）

参加国・地域 (1～9は世界連合加盟団体、ほかは普及国)			参加 チーム数	参加国際 審判員数
1	ARG	アルゼンチン	6	—
2	AUS	オーストラリア	3	—
3	BRA	ブラジル	30	54
4	CHN	中華人民共和国	5	18
	INA	インドネシア	0	—
5	JPN	日本	3	12
6	KOR	大韓民国	1	—
7	PAR	パラグアイ	5	—
8	PER	ペルー	5	—
9	USA	アメリカ合衆国	1	—
	IND	インド	0	—
10	URU	ウルグアイ	1	—
11	EURO	ヨーロッパ	4	—
1			64	84

※) 国際審判員を派遣いただいた加盟団体は以下のとおり。

- ・東京、新潟、富山、鳥取、広島

④ 成績

順位	チーム名	国・地域
優勝	NIPPON COUNTRY CLUB ニッポン カントリークラブ	BRA ブラジル
準優勝	SHANGHAI-Shi, PUDONG-Xinqu, GAODONG-Zhen, MENQIU-Dui 上海市浦東新区高東鎮門球隊	CHN 中華人民共和国
第3位	CHINA JIANG-Xi, Yuchun-Dui 中国江西宜春門球隊	CHN 中華人民共和国
	SHENGLI, OILFIELD, Representative team 中国勝利油田代表隊	CHN 中華人民共和国

なお、大会の円滑な運営を図るため、7月3日～10日、日本連合職員2名を派遣した。

(2) 海外派遣事業（日本財団助成事業）

海外から要請のあった国・地域、および今後の国際選手権大会の円滑な運営を図るため、以下のとおり、役職員を派遣し、国際親善の促進に努めた。

実施日	事業内容	派遣人数
2月7日 ～2月9日	〔訪問先〕台湾；台北市 今後のアジアにおけるゲートボール活動について	2名

(3) 国際大会等への日本チームの派遣（日本財団助成事業）

派遣要請のあった国際大会・交流会に対し、役職員および日本チームの派遣協力を行い、国際親善の促進に努めた。

実施日	事業内容	派遣人数
7月19日 ～7月23日	〔訪問先〕ロシア；ユジノサハリンスク ゲートボール普及指導・交流会	6名
12月15日 ～12月17日	〔訪問先〕香港； 第2回アジアユースゲートボール選手権大会	13名

※ 当初計画にあった、国際大会（チャイニーズタイペイ、オーストラリア、中華人民共和国）については、調整が不調に終わり日本からの参加を見合わせることにし、イギリス；リボン市での大会については、企画・募集を実施したが、最低参加人員に満たず不参加となった。

6. 競技規則に関すること

(1) 公式ゲートボール競技規則の改正

世界連合制定の国際公式ゲートボール競技規則・審判実施要領が、2019年4月1日に改正・施行することで承認されたことから、日本連合では国内での公式ゲートボール競技規則・審判実施要領（公式競技規則）を同日・同内容にて施行することとし、愛好者が混乱することなくスムーズに移行できるよう、伝達の強化を図った。

(2) 国際公式ゲートボール競技規則改正への協力（日本財団助成事業）

世界連合との協同で、世界連合加盟団体を対象にした国際公式ゲートボール競技規則・審判実施要領についての検討会議「ゲートボール国際会議 2018」を実施した。2017年・2018年にわたる検討により、2019年施行に向けた一部改正としての取りまとめを行い、2018年9月にブラジルで開催された第51回世界連合理事会にて審議され、2019年4月改正として承認を得た。

実施日／会場	参加国・地域
8月16日・17日	7カ国・地域
T K P ガーデンシティ品川	オーストラリア／ブラジル／韓国／フィリピン／スイス／台湾／日本
検討1) 国際ゲートボール競技規則・審判実施要領の見直し 検討2) 障がい者向けゲートボール競技規則 報告事項) 第12回世界ゲートボール選手権大会 開催要項（案）他	

7. 指導者の養成

(1) 指導者の育成（日本財団助成事業）

1) 加盟団体が実施する指導者研修会への支援

公認ゲートボール指導者を対象とした加盟団体および地域協議会が行う指導者研修会に対し支援を行った。

- ・期 日：2018年5月～2019年3月
- ・場 所：11加盟団体
- ・参加者：公認スポーツ指導者ほか 延べ710名
- ・内 容：指導者として必要と思われる講演・実技・研究協議等
- ・協力講師：白河市教育委員会、佐渡市健康推進室、広島法務局・人権擁護委員、消防士、日本フラッグフットボール協会、神奈川県体育協会、横浜市スポーツ医科学センター、大塚薬品工場サプリメントアドバイザー、埼玉県立朝霞高等学校、作新学院高等学校

(2) 公認指導者の養成

公認スポーツ指導者は、日本スポーツ協会が認定する資格であり、資格認定にはスポーツ一般に関した共通科目と競技の専門性などに特化した専門科目をそれぞれ履修する必要がある。

日本連合では、専門科目の履修に関する業務を担当しており、国民体育大会参加

チームの監督には本資格が必要なことから、資格取得の促進を図るとともに、資格取得後の資質向上と資格更新のための義務研修（4年に1回）の受講を奨励した。

※ 詳細は、「公認ゲートボール指導者 養成講習会・義務研修の実施および登録者一覧表」（16 ページ）参照

1) 専門科目および準指導員養成講習の検定試験

実施団体	開催地	実施期間	合格者
東京	東京都小平市	2019年1月20日～2019年2月3日	11
長野	長野県松本市	2018年7月17日～2018年7月19日	10
島根	島根県出雲市	2019年2月8日～2019年2月10日	13
合計			34

※ このほか、日本スポーツ協会の委託および独自事業として、東北地域（23名合格）、京都府（10名合格）、が実施した。

2) 準指導員の登録者数

2018年度の準指導員は、新規登録者4名、登録更新者数2名、資格移行者2名となり、計13名であった。

加盟団体	新規登録者数	登録更新者数	資格移行者数(*)	累計
北海道				1
東京	4			4
長野				1
三重			2	0
京都				1
岡山		2		4
福岡				1
熊本			1	0
合計	4	2	3	12

※ 移行者：日本連合認定準指導員 ⇒ 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者

3) 日本体育協会公認スポーツ指導者の登録者数

2018年度末での公認スポーツ指導者（ゲートボール）登録者数は1,344名となり、前年度1,270名から74名の増となった。

公認ゲートボール指導者 養成講習会・義務研修等の実施および登録者一覧表

2019年3月31日

	養成講習会 修了者数	義務研修 対象参加者数	再登録 申請者数	登録者数	性別内訳	
					男性	女性
1 北海道				22	17	5
2 青森			1	13	6	7
3 岩手				26	19	7
4 宮城		48		60	36	24
5 秋田				15	9	6
6 山形				20	15	5
7 福島		10		18	14	4
8 茨城			1	24	15	9
9 栃木		22	1	29	17	12
10 群馬				29	19	10
11 埼玉		82		127	69	58
12 千葉				37	22	15
13 東京	8			26	17	9
14 神奈川	3	25		35	19	16
15 新潟		39		140	111	29
16 富山	2		1	14	11	3
17 石川				12	10	2
18 福井				37	29	8
19 山梨				11	8	3
20 長野	8	248		203	147	56
21 岐阜				16	10	6
22 静岡				12	7	5
23 愛知				23	16	7
24 三重				25	21	4
25 滋賀		4	1	33	24	9
26 京都				39	24	15
27 大阪				15	5	10
28 兵庫				9	4	5
29 奈良				14	9	5
30 和歌山				16	10	6
31 鳥取				9	8	1
32 島根	13			8	6	2
33 岡山		18		44	31	13
34 広島		13		16	9	7
35 山口				1	1	0
36 徳島		23		24	18	6
37 香川				33	22	11
38 愛媛				6	4	2
39 高知				2	2	0
40 福岡		7		10	7	3
41 佐賀				1	0	1
42 長崎				30	26	4
43 熊本				2	1	1
44 大分				12	4	8
45 宮崎				10	7	3
46 鹿児島				15	10	5
47 沖縄				21	19	2
合計	34	539	5	1,344	915	429
前年度計	100	485	4	1,270	851	419
増減	-66	54	1	74	64	10

8. 審判員の養成および認定

(1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）

全国大会開催地の加盟団体審判員を対象に、技能と資質向上を図るため、審判実施要領や競技規則、競技会の企画・運営方法等の事前研修会を実施した。

1) 「審判研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実施日	参加者数
鹿児島	鹿児島ふれあいスポーツランド 指宿市営陸上競技場	2018年4月6日	85名
		4月20日	86名
岩手	岩手県営運動公園	2018年6月20日	71名
		6月21日	65名
埼玉	熊谷スポーツ文化公園	2018年7月17日	111名
		7月25日	104名
千葉	浦安運動公園陸上競技場	2018年9月1日	86名
		10月25日	86名
福井	若狭さとうみパーク 他	2018年6月10日	70名
		8月12日	70名
富山	福光屋内グラウンド 他	2018年6月9日	150名
		8月11日	125名
合 計			1,109名

※ 福井県（1回目）および富山県（1回目、2回目）は参加者の交通負担等を考慮した結果、県内の地区別による開催とした。

(2) 審判員資格試験の実施

競技を公正かつ円滑に実施するために必要不可欠な審判員の養成を行うため、加盟団体の協力を得て、各級の審判員資格試験を実施した。

1) 受験者数および合格者数

級	受験者	合格者	備考
1 級	219	217	38加盟団体で実施
2 級	440	436	39加盟団体で実施
3 級	1,578	1,569	46加盟団体で実施
合計	2,237	2,222	

※ 詳細は「審判員資格試験実施結果一覧表」（19ページ）参照

(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施

審判員の技能向上のため、加盟団体の協力を得て、各級の登録や審判員資格更新講習会を実施した。

また、85歳以上の審判員を対象とした永年審判員の登録を実施した。

なお、2018年度の新規登録者数は2,209名、登録更新者数は21,916名となった。

1) 新規登録者数および登録更新者数

級	新規登録者	登録更新者	合計
1 級	212	4,145	4,357
2 級	429	3,788	4,217
3 級	1,568	13,983	15,551
合計	2,209	21,916	24,125

※ 詳細は「審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表」(20 ページ) 参照

2) 登録料免除対象者

ジュニア・ユース世代に対する資格取得の促進のため、登録時に満 16 歳以上 25 歳以下の者、または登録時に所定の学校に生徒として在籍している者を対象に、登録料の免除を行った。

対象登録者	1 級	2 級	3 級	合計
20 加盟団体	1	9	141	151

(4) 永年審判員登録者数

	1 級	2 級	3 級	合計
新規登録者	9	1	4	14

※ 永年審判員の登録者数は「審判員級別一覧表」(21 ページ) 参照

(5) 国際審判員

今年度は資格試験は実施せず、登録更新のみ行った

加盟団体	受験者数	合格者数	新規登録者数	登録更新者数
徳 島				4
香 川				3
合 計	0	0	0	7

※ 国際審判員の登録者数は「審判員級別一覧表」(21 ページ) 参照

審判員資格試験実施結果一覧表

2019年3月31日

		1 級			2 級			3 級	
		新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	合格者数
1	北海道	1		1	8		8	41	41
2	青森							17	17
3	岩手	1		1	8		8	36	36
4	宮城	5		5	7		7	22	22
5	秋田							9	9
6	山形	11		11	11		11	18	18
7	福島	9	1	10	16	1	17	25	25
8	茨城							24	24
9	栃木	4		4	15		15	26	26
10	群馬	9		9	13		13	25	25
11	埼玉	11		11	11		11	48	48
12	千葉	3		3	15		15	13	13
13	東京	9		9	22		22	61	54
14	神奈川	3		3	9	1	8	50	49
15	新潟	5		5	28		28	73	73
16	富山	12		12	10		10	18	17
17	石川							9	9
18	福井	10		10	10		10	19	19
19	山梨	3		3	5		5	57	57
20	長野	16		15	61		59	126	126
21	岐阜	13		13	16		16	23	23
22	静岡	2		2	7		7	23	23
23	愛知				8		8	60	60
24	三重	6		6	23		23	50	50
25	滋賀	14		14	23		23	57	57
26	京都	15		14	13		13	32	32
27	大阪							68	68
28	兵庫	3		3	11		11	15	15
29	奈良	5		5	3		3	29	29
30	和歌山	7		7	6		6	14	14
31	鳥取	1		1	1		1	5	5
32	島根	1		1	10		10	26	26
33	岡山	4		4	4	1	5	15	15
34	広島	2		2	11		11	15	15
35	山口	3		3	5		5	3	3
36	徳島	3		3	6		6	93	93
37	香川	6		6	4		4	13	13
38	愛媛	2		2	4		4	24	24
39	高知	2		2	3		3	13	13
40	福岡							31	31
41	佐賀	3		3	5		5	25	25
42	長崎	1		1	5		5	62	62
43	熊本								
44	大分	1		1	4		4	34	34
45	宮崎							17	17
46	鹿児島	5		5	11		11	64	64
47	沖縄	7		7	5		5	50	50
合 計		218	1	217	437	3	436	1,578	1,569
前年度計		305	1	306	520	6	516	2,024	2,018
増 減		-87	0	-89	-83	-3	-80	-446	-449

審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表

2019年3月31日

	新規登録者数				登録更新者数				合計
	1級	2級	3級	小計	1級	2級	3級	小計	
1 北海道	1	8	41	50	109	115	313	537	587
2 青森			17	17	8	27	79	114	131
3 岩手	1	8	36	45	92	104	550	746	791
4 宮城			22	22	60	36	236	332	354
5 秋田			9	9	25	34	119	178	187
6 山形	11	11	18	40	104	68	93	265	305
7 福島	10	17	25	52	74	66	392	532	584
8 茨城			24	24	60	82	229	371	395
9 栃木	4	15	26	45	77	54	249	380	425
10 群馬	9	13	25	47	49	19	4	72	119
11 埼玉	11	11	48	70	182	92	420	694	764
12 千葉	3	15	12	30	67	76	165	308	338
13 東京	9	22	54	85	96	92	522	710	795
14 神奈川	3	8	49	60	133	125	602	860	920
15 新潟	5	28	73	106	476	422	1,198	2,096	2,202
16 富山	12	10	17	39	86	82	139	307	346
17 石川			9	9	61	94	72	227	236
18 福井	10	10	19	39	106	133	268	507	546
19 山梨	3	5	57	65	96	74	409	579	644
20 長野	15	59	126	200	313	189	706	1,208	1,408
21 岐阜	13	16	23	52	106	118	339	563	615
22 静岡	2	7	23	32	58	56	232	346	378
23 愛知		8	60	68	102	106	461	669	737
24 三重	6	23	50	79	62	67	321	450	529
25 滋賀	14	23	57	94	100	171	609	880	974
26 京都	14	13	32	59	128	125	440	693	752
27 大阪			68	68	162	171	681	1,014	1,082
28 兵庫	3	11	15	29	106	124	282	512	541
29 奈良	5	3	29	37	61	56	241	358	395
30 和歌山	7	6	14	27	70	56	148	274	301
31 鳥取	1	1	5	7	44	12	31	87	94
32 島根	1	10	26	37	53	56	292	401	438
33 岡山	4	5	15	24	93	52	228	373	397
34 広島	2	11	15	28	133	94	297	524	552
35 山口	3	5	3	11	22	29	49	100	111
36 徳島	3	6	93	102	40	52	110	202	304
37 香川	6	4	13	23	78	54	196	328	351
38 愛媛	2	4	24	30	30	16	141	187	217
39 高知	2	3	13	18	9	3	24	36	54
40 福岡			31	31	34	18	58	110	141
41 佐賀	3	5	25	33	55	41	299	395	428
42 長崎	1	5	62	68	87	70	319	476	544
43 熊本					11	18	13	42	42
44 大分	1	4	34	39	54	82	345	481	520
45 宮崎			17	17	41	38	113	192	209
46 鹿児島	5	11	64	80	115	94	763	972	1,052
47 沖縄	7	5	50	62	17	25	186	228	290
合計	212	429	1,568	2,209	4,145	3,788	13,983	21,916	24,125
前年度計	306	517	2,015	2,838	3,875	3,737	15,811	23,423	26,261
増減	-94	-88	-447	-629	270	51	-1,828	-1,507	-2,136

審判員級別一覧表

2019年3月31日

	1 級	2 級	3 級	小 計	永 年 審 判 員				国 際 審 判 員
					1 級	2 級	3 級	小 計	
1 北 海 道	248	283	788	1,319	9	9	5	23	
2 青 森	20	63	207	290	2	2		4	1
3 岩 手	207	222	1,163	1,592	6	2		8	
4 宮 城	177	86	518	781	23	22	32	77	1
5 秋 田	49	46	239	334	2		1	3	
6 山 形	165	98	246	509	2	1		3	
7 福 島	182	164	1,074	1,420	7			7	1
8 茨 城	142	158	559	859	1			1	
9 栃 木	158	116	495	769	2			2	
10 群 馬	148	58	177	383				0	
11 埼 玉	361	170	1,131	1,662	2	1		3	1
12 千 葉	164	160	372	696	3	2		5	8
13 東 京	246	217	1,220	1,683	4	6		10	29
14 神 奈 川	262	267	1,440	1,969	14	4	1	19	12
15 新 潟	514	472	2,228	3,214	3	1		4	37
16 富 山	196	184	417	797	4		1	5	2
17 石 川	130	140	147	417				0	
18 福 井	269	305	602	1,176	1			1	
19 山 梨	168	193	1,187	1,548	1		1	2	
20 長 野	646	481	1,804	2,931	2			2	2
21 岐 阜	257	300	778	1,335	2	5	2	9	
22 静 岡	181	144	508	833	4	2	1	7	
23 愛 知	242	220	1,069	1,531	10	1		11	1
24 三 重	150	181	707	1,038	1	1		2	1
25 滋 賀	210	346	1,382	1,938	9	4	2	15	1
26 京 都	284	274	953	1,511	3	1	1	5	
27 大 阪	172	179	795	1,146	5	4		9	
28 兵 庫	136	180	481	797				0	
29 奈 良	188	131	550	869			1	1	
30 和 歌 山	90	93	314	497	1	4	5	10	6
31 鳥 取	78	47	70	195				0	1
32 島 根	210	232	881	1,323				0	
33 岡 山	164	117	502	783	4			4	1
34 広 島	254	204	619	1,077	6	4	2	12	5
35 山 口	59	69	130	258				0	
36 徳 島	91	97	462	650	1		2	3	4
37 香 川	152	113	396	661				0	3
38 愛 媛	85	74	383	542	9		4	13	
39 高 知	27	11	63	101	3			3	
40 福 岡	56	56	201	313		1		1	3
41 佐 賀	138	130	663	931	1			1	1
42 長 崎	182	177	767	1,126	7			7	2
43 熊 本	45	87	245	377	1		1	2	1
44 大 分	104	166	783	1,053				0	
45 宮 崎	93	77	267	437	2	1		3	
46 鹿 児 島	223	283	1,609	2,115	2	3	1	6	2
47 沖 縄	47	40	469	556				0	
合 計	8,370	7,911	32,061	48,342	159	81	63	303	126
前年度計	8,838	8,508	36,034	53,380	150	80	59	289	133
増 減	-468	-597	-3,973	-5,038	9	1	4	14	-7

9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定

競技を公正・安全に行うことを目的とした用具の認定基準に則り、第三者機関の安全検査に合格したゲートボール用具を認定する契約を12社と締結し、認定スティックへの認定証紙（シール）の貼付、認定ボールへの刻印を認めた。

10. ゲートボールに関する刊行物の発行

公式ゲートボール競技規則・審判実施要領の改正に伴い、順次、関連書籍を改訂・刊行を実施した。

また、各種の普及活動を効果的に展開するため、パンフレット等を作成・配布した。

11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 功労者等の表彰

ゲートボールの普及発展に顕著な功績のあった方（ゲートボール功労者）、ゲートボールを通じて永年健康保持に努められた方（健康功労者）、10年以上審判員登録し功労のあった方（審判員功労者）を、表彰規程に基づき、加盟団体の推薦により表彰した。今年度の表彰結果は以下のとおり。

- 1) ゲートボール功労賞 44名
- 2) 健康功労賞 252名
- 3) 審判功労賞 220名

(2) 各種大会への協力

官公庁・行政・自治体および関係団体等が主催する大会等に協力し、更なるゲートボールの普及と生涯スポーツの振興に寄与した。

1) 加盟団体以外の団体等が主催したゲートボール大会等への後援

事業名	主催者	開催地	開催期日
第30回東根さくらんぼ ゲートボール全国大会	さくらんぼゲートボール 全国大会実行委員会	山形県 東根市	6月13日～ 14日
第31回発祥の地杯 全国ゲートボール大会	芽室町 芽室町教育委員会	北海道 芽室町	8月25日～ 26日
第6回山ノ内町観光大使杯 三遊亭円楽ゲートボール大会	山ノ内町観光大使杯三遊亭円 楽ゲートボール大会実行委員会	長野県 山ノ内町	8月30日～ 31日
第2回関西シニアマスターズ・ ゲートボール交流大会	兵庫県・関西広域連合	兵庫県 姫路市	9月4日～ 5日
2018日本の蔵王day三遊亭円楽杯 ゲートボール交流大会	蔵王町・蔵王町教育委員会	宮城県 蔵王町	10月4日～ 5日
会津若松市戊辰150周年記念事業 三遊亭円楽杯ゲートボール大会	会津若松市戊辰150周年記念 三遊亭円楽杯ゲートボール 大会・落語の会実行委員会	福島県 会津若松市	10月10日～ 11日
全国ミドルオープンゲートボール 2018 in 津南高原	一般財団法人 新潟県ゲートボール連盟	新潟県 津南町	10月13日～ 14日
ねんりんピック紀ノ国わかやま 2019ゲートボール交流大会	厚生労働省・和歌山県ほか	和歌山県 和歌山市	11月9日～ 11日
第26回小豆島オリーブ杯 ゲートボール全国大会	小豆島オリーブ杯 ゲートボール全国大会実行委員会	香川県 小豆島町	3月2日～ 3日
第22回JLC杯 スーパーゲートボール大会	株式会社 日本レジャーチャンネル	静岡県 伊豆市	3月9日～ 10日
第4回北海道ユースゲートボール交流会	北海道ユースゲートボール 交流会実行委員会	北海道 芽室町	3月9日～ 10日

(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止

1) 調査研究の実施

誰もが安全にゲートボールを楽しむことができるよう、競技会等での事故や傷病の事例を収集し、ゲートボール活動における事故防止や予防に向けた啓発に努めた。

また、事故にあった会員に対し見舞金を支給した。

2018年度の事故防止事業対象者は65,603名となり、前年度と比較して6,390名減少した。また見舞金支給件数は前年比5件の減少となった。

※詳細は「事故防止事業対象者数および事故発生状況一覧表」(24ページ)参照

① 年度別事故防止事業運営実績一覧

年 度	対象者数	支給件数	通 院	入 院	死 亡	見舞金支給額(円)
2012年度	117,472	125	67	50	8	5,975,000
2013年度	106,633	106	53	49	4	5,545,000
2014年度	97,493	85	39	40	6	4,295,000
2015年度	89,837	81	43	34	4	3,900,000
2016年度	80,731	82	39	41	2	4,200,000
2017年度	71,993	68	27	35	6	3,715,000
2018年度	65,603	63	25	33	5	3,340,000

② ランク別傷病件数

傷病	Aランク			Bランク			Cランク			合 計			
	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	計
捻挫・脱臼							3			3			3
創 傷	1	1								1	1		2
挫傷・打撲	2						3	1		5	1		6
骨 折	10	14					6	8		16	22		38
心臓器障害					1	2					1	2	3
脳疾患					4	1			1		4	2	6
熱中症													
その他			1		4						4	1	5
合計	13	15	1	0	9	3	12	9	1	25	33	5	63

注) 本事業への登録者が、日本連合、加盟団体または加盟団体傘下の団体等が主催(共催)・主管・後援するゲートボール競技大会、およびゲートボールに関する講習会・研修会等において事故にあったときは、次のランクに基づき、見舞金を支給する。

Aランク・・・参加中に発生した傷害事故

Bランク・・・参加中に発生した日射病・熱射病、疾病(既往症)、脳疾患や心神喪失など

Cランク・・・参加のための、自宅と目的地の往復路であった事故

事故防止事業対象者数および事故発生状況一覧表

2019年3月31日

		対象者数	支給件数	Aランク	Bランク	Cランク	通院	入院	死亡	見舞金 支給額
1	北海道	492								
2	青森	464	1	1				1		100,000
3	岩手	2,280	2	1	1			1	1	200,000
4	宮城	1,759								
5	秋田	635	1	1				1		100,000
6	山形	750	1			1		1		55,000
7	福島	2,226	2	2			1	1		115,000
8	茨城	1,204								
9	栃木	1,384	1	1			1			15,000
10	群馬	905	1			1		1		35,000
11	埼玉	2,724	5	3		2	2	3		300,000
12	千葉	986	3		1	2	1	1	1	165,000
13	東京	2,483	1		1			1		45,000
14	神奈川	3,211	1			1		1		55,000
15	新潟	4,607	10	1	2	7	6	4		315,000
16	富山	1,124	2	2				2		110,000
17	石川	492								
18	福井	1,658	1	1					1	100,000
19	山梨	1,810	3	3			2	1		130,000
20	長野	3,543	1			1	1			25,000
21	岐阜	1,906								
22	静岡	1,240								
23	愛知	1,108	1		1			1		80,000
24	三重	1,453	1	1			1			35,000
25	滋賀	2,849	4	1	2	1	2	1	1	175,000
26	京都	1,975	2	1		1	2			50,000
27	大阪	2,186								
28	兵庫	1,367	5	3		2	2	3		295,000
29	奈良	764								
30	和歌山	599								
31	鳥取	270								
32	島根	2,133	1	1			1			15,000
33	岡山	993	2	1		1	1	1		125,000
34	広島	1,551								
35	山口	375								
36	徳島	448								
37	香川	586								
38	愛媛	574	3	1	1	1		2	1	255,000
39	高知	51								
40	福岡	303	1	1			1			35,000
41	佐賀	1,079	2	1	1			2		135,000
42	長崎	1,565								
43	熊本	1,235	3	1	2		1	2		120,000
44	大分	1,350	1			1		1		55,000
45	宮崎	248								
46	鹿児島	1,573	1	1				1		100,000
47	沖縄	1,085								
合計		65,603	63	29	12	22	25	33	5	3,340,000

2) ドーピング防止活動の協力推進

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の協力のもと、ドーピング防止活動として、アンチ・ドーピング研修会のほか、以下事業を実施した。

① アンチ・ドーピング研修会

- ・期 日：2018年8月31日（金）
- ・場 所：福井県若狭町 若狭町中央公民館（リブラ若狭）
- ・講 師：JADA協力トレーナー 栗本宣和
／福井工業大学 スポーツ健康科学部 講師

② アウトリーチプログラム（参加型普及啓蒙活動）

- ・期 日：2018年7月28日（土）・29日（日）
- ・場 所：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム

③ 全日本選手権ゲートボール大会出場チームへのガイドブックの配布

- ・期 日：2018年10月27日（土）・28日（日）
- ・場 所：千葉県浦安市 浦安市運動公園 陸上競技場

④ 情報誌「ゲートボールNavi2018」および日本連合主催全国大会の競技プログラムへの理念広告の掲載

(4) 広報事業

「日本連合公式ホームページ」を大幅にリニューアルし、スマートフォンでの閲覧も念頭において、愛好者のみならず一般の方々に対しても画像や動画を通じて親しみを持てるページ作りに注力した。

また、テレビ・新聞・ウェブサイト運営会社からの取材協力依頼が増えていることから、マスコミ関係者への対応の充実を図った。

1) 通信衛星放送による普及啓蒙番組「スーパーゲートボール」の製作と放映

2018年度も、全国大会の放映を中心に番組制作し、再放送分を加えて放映した。

- ・期 間：2018年4月1日から2019年3月31日まで
- ・制作配信：株式会社日本レジャーチャンネル
- ・配信方法：スカパーフェクTV! 680ch 及び
ケーブルテレビ161局（2019年3月31日現在）
- ・放送回数：104回（毎週土曜日・日曜日 6:00～6:55）

2) 情報誌発行事業（スポーツ振興くじ助成事業）

ゲートボール情報誌を発行し、ホームページを閲覧する環境にない会員にも広く情報を提供するとともに、日本連合のホームページにも掲載して自由にダウンロードできるように設定した。

- ・名称等：ゲートボールNavi2018年度号（A4縦版、カラー、本文30ページ）
- ・発行日：2019年2月
- ・発行数：69,000部
- ・配付先：事故防止事業対象者ほか

(5) 会員データシステムの整備

日本連合が管理・運用している審判員、事故防止事業対象者等の名簿データの一元化を図ることにより、日本連合と加盟団体の事務の効率化を図るため、外部業者に委託し、加盟団体の意見を徴しながらシステム構築、データ整備を進め、順次利用加盟団体を拡大した（2019年3月31日現在13加盟団体利用）。

(6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集

日本連合の諸事業の一層の充実と発展を図るため、寄付金・賛助金および協賛企業等を募集した。

1) 賛助会員（30社：2019年3月31日現在）

	会社名	所在地
	株式会社ニチヨー	栃木県足利市
	株式会社サンシャインスポーツ	長野県松本市
	株式会社サン	新潟県三条市
	株式会社ワールドダイヤモンド	東京都世田谷区
	株式会社シャトル	福井県越前市
	株式会社ロンウッド	富山県南砺市
	株式会社本郷	広島県廿日市市
	株式会社サンラッキー	大阪府大阪市
	株式会社ティエヌケイ	埼玉県川越市
	羽立工業株式会社	静岡県湖西市
	株式会社ウシクボ（*）	東京都墨田区
	井上工業株式会社	兵庫県加東市
	大日本トラベル株式会社（*）	東京都港区
	東日観光株式会社	東京都中央区
	名鉄観光サービス株式会社	東京都品川区
	株式会社日本旅行	東京都中央区
	株式会社天賞堂	東京都中央区
	株式会社かいせい	東京都港区
	エーアンドエー株式会社	東京都千代田区
	株式会社アオイスports企画	東京都稲城市
	株式会社サンワ	埼玉県戸田市
	株式会社東京ビー・エム・シー	東京都港区
	株式会社イルマックス	東京都墨田区
	株式会社ジェイティービー	東京都品川区
	株式会社インタートレードヘルスケア（*）	東京都中央区
	株式会社エイチ・アイ・エス	東京都渋谷区
	東洋物産株式会社	東京都杉並区
2017年度入会	株式会社日本出版制作センター	東京都千代田区
2017年度入会	日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社	神奈川県横浜市
2018年度入会	有光株式会社	東京都千代田区

（*）2018年度をもって退会。

2) 大会協賛企業 (10 社)

山崎製パン株式会社	名鉄観光サービス株式会社
株式会社シャトル	株式会社ティエヌケイ
株式会社日本レジャーチャンネル	株式会社本郷
株式会社日本旅行	株式会社ニチヨー
三井住友トラストカード株式会社	株式会社インタートレードヘルスケア

3) 寄付金 (3 件)

① 一般寄付

総額 143,000 円の寄付があり、日本連合が実施するゲートボール普及事業および日本財団への寄付金に充当した。

明細は下記のとおり。(順不同、敬称略)

全国ユースゲートボール連盟、株式会社シャトル、中原陽子

【参考：各種名簿】

別表第1 評議員：任期4年（8名以上15名以内）

2019年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
上治丈太郎	一般財団法人日本スポーツツーリズム機構 理事	
久米信行	久米繊維工業株式会社 取締役会長	
小高幹雄	一般財団法人BOATRACE振興会 会長	
児玉義人	鹿児島県ゲートボール協会 会長	
三遊亭円楽	落語家	
下光輝一	公益財団法人健康・体力づくり事業財団 理事長	
中村太一	徳島県ゲートボール協会 会長	
花岡伸和	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 副理事長	
前田晃	公益財団法人日本財団 専務理事	
松尾哲矢	立教大学 副総長 コミュニティ福祉学部 教授	
宮西義憲	前芽室町町長	
望月美佐緒	株式会社ルネサンス 常務執行役員	

別表第2 理事：任期2年（8名以上15名以内）

2019年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
椎川忍	公益財団法人日本ゲートボール連合 会長	代表理事
関口孝則	公益財団法人日本ゲートボール連合 常務理事	業務執行理事
中村健治	公益財団法人日本ゲートボール連合 常務理事	業務執行理事
佐藤黎子	宮城県ゲートボール連盟 理事長	
菅原悟志	公益財団法人ブルー・アント・グリーンランド財団 理事長	
南木恵一	一般社団法人とやまライフデザイン研究所 理事長	
花田惇	学校法人青森山田学園 青森山田高等学校 校長	
東野真理子	公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会 常務理事・事務局長	
町田光	公益財団法人日本フラッグフットボール協会 専務理事	
若林静子	一般財団法人新潟県ゲートボール連盟 理事長	
渡邊一利	公益財団法人笹川スポーツ財団 理事長	

別表第3 監事：任期2年（2名以内）

2019年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
岸郁子	四谷番町法律事務所 弁護士	
菅井明則	公益財団法人笹川平和財団 常務理事	

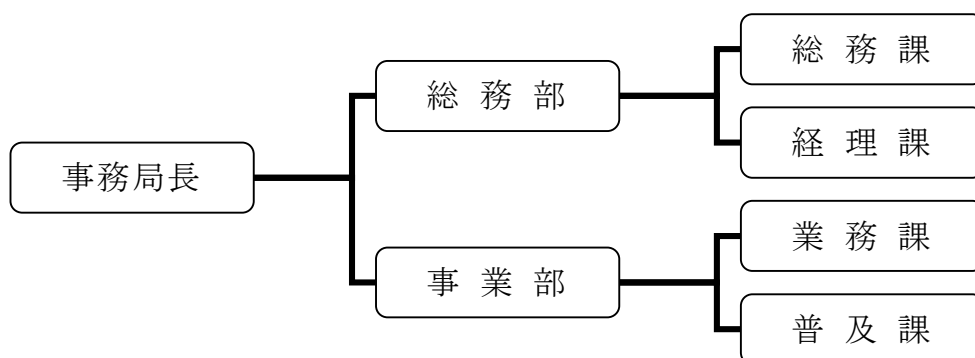
別表第4 アドバイザー

2019年3月31日現在

氏名	所属	氏名	所属
五十嵐 隆男	北海道 G B 連合	山本 議照	滋賀県 G B 連盟
蛭名 啓一	青森県 G B 協会	鈴木 信久	京都府 G B 連合
谷藤 正志	岩手県 G B 協会	橋本 健吾	大阪府 G B 連盟
宮崎 正久	宮城県 G B 連盟	望月 登	(一社)兵庫県 G B 連合
成田 成男	秋田県 G B 協会	辻本 隼夫	奈良県 G B 協会
緒方 源二	山形県 G B 協会	栩野 一美	和歌山県 G B 協会
安瀬 義正	福島県 G B 協会	坂本 喜好	鳥取県 G B 協会
石引 義男	茨城県 G B 連合会	本田 恭一	島根県 G B 協会
小口 孝夫	栃木県 G B 協会	池田 輝美	岡山県 G B 協会
深代 栄三	群馬県 G B 協会	政本 隆延	広島県 G B 連合
元永 厚雄	埼玉県 G B 連盟	中田 憲明	山口県 G B 協会
木内 秀昭	千葉県 G B 連盟	宮本 實	徳島県 G B 協会
森口 貴教	(特非)東京 G B 連合	川畑 省三	香川県 G B 連盟
岡田 喜久雄	神奈川県 G B 連合	徳永 和夫	愛媛県 G B 連合
阿部 忠孝	(一財)新潟県 G B 連盟	山内 高	高知県 G B 協会
中林 勝信	(特非)富山県 G B 協会	竹中 五郎	福岡県 G B 連合
松井 邦夫	石川県 G B 協会	蒲地 春彦	佐賀県 G B 協会
山本 竹司	福井県 G B 協会	上杉 勝也	長崎県 G B 協会
關本 逸兵	山梨県 G B 協会	中嶋 利秋	熊本県 G B 連合
平林 操	長野県 G B 連盟	小野 悟	大分県 G B 協会
松村 多美夫	岐阜県 G B 連盟	西村 忠喜	宮崎県 G B 協会
土居 征夫	静岡県 G B 協会	山下 真人	鹿児島県 G B 協会
鈴木 克昌	愛知県 G B 連盟	大城 哲夫	沖縄県 G B 連合
宮田 淳	三重県 G B 連合会	今川 啓一	学 識

別表第5 事務局組織図

2019年3月31日現在



2018年度事業報告における附属明細書

2018 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

2019 年 5 月

公益財団法人日本ゲートボール連合

前記のとおり相違ありません。

2019年5月20日

公益財団法人日本ゲートボール連合

会 長 椎 川 忍

2018年度の事業報告書を監査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

2019年6月3日

監 事 岸 郁 子

監 事 菅 井 明 則